# アクセスログを用いた Social Bookmark の構築

03H020 小栗 一也

## 1　はじめに

現在、繰り返して Web page を閲覧するにあたって、Bookmark という機能がある。しかし、Bookmark は個人で登録し、個人で管理し、他の人との Bookmark を共有をすることはできない。共有を交え、新たな役立つ知識を発見することが出来れば、モチベーションが上り、研究促進に繋がると考える。

それを実現する方法として現存する、Social Bookmark というサービスがある。ネットワークが繋がっている環境であれば、自分のパソコンで開くブラウザでなくても、自分が Bookmark として登録した URI を閲覧することが出来る。

しかし、不特定多数の人が登録するため、新しいものや流行のものを見つけ出すのには適するであろうが、同じ研究を進めている小規模なネットワーク内で利用するにあたって、自分が必要とする情報、役立つ知識を見つけ出すことは難しい。

そこで、本研究では同じ部署や研究室等の小規模ネットワーク内で研究促進に繋がり、如何に活用出来るかを目的とした Social Bookmark を構築する。見栄えと、カウンタをつける事により、研究の内容、また、流行のものが浮き彫りになり、研究の促進、同じ部署で研究に携わるにあたってのよいコミュニケーションになるであろうと推測する。

## 2　本システムについて

オブジェクト指向型言語 Ruby を用いて、プログラムを記述し、Proxy Server である Squid のアクセスログを参照して、その研究室内の個人 user 名、各々の user 名別の URI を抽出する。抽出された URI の中で同じ URI があれば数え上げ、個人 user 名毎がどの URI に何回アクセスしたのかを CGI プログラムを用いて Web 上に掲載する。また、個人 user 毎の Bookmark page を設ける。log on 画面を設け、個人別に Pass Word と ID を配布する。log on した際にその個人の名前を記憶し、URI の登録を行う。そうすると、自動的にその個人の BookMark page に登録する URI が書き込まれる。コメントも付加できるように Textbox を設置した。そこに、delete キーを設け、登録した URI を消すことも出来るようにする。それを図 1 に示す。

これによって同輩がどのようなことについて研究しているかや、どんな嗜好であるかなどを分析できる。このシステム監視内で、どの user も BookMark しておらず、かつ、アクセス件数が高いものをトップページに自動で BookMark する。これによって必要としているであろう情報があるページの URI を保持し、閲覧が出来る。

図 1

## 3　今後の課題

1. 個人で登録している URI の閲覧件数表示に重ねて、ウェブを何分みていたかという閲覧時間を squid から読み取って抽出するプログラムを追加する。
2. 小規模ネットワーク内での閲覧件数が多く、誰も Bookmark していない URI を自動でトップページに登録するスクリプトを実装させる。